

研究主題 「小学校英語カリキュラム試案の開発 - 音声と文字のつながりに着目して - 」

東京都教職員研修センター 研修部企画課
港区立筈小学校 教諭 高橋美香

研究のねらい

1 研究主題設定の理由

経済・社会等のグローバル化が進展する中、自国と他国の文化を理解し、世界の共通語と言われている英語を活用する実践的コミュニケーション能力を身に付け、世界の人々と共生できる資質が求められている。平成15年には「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」（文部科学省）が策定され、現在各地で小学校英語活動の研究が進められている。

大使館や外資系企業が多く、住民の約1割が外国人である港区は、「構造改革特別区域計画～国際人育成を目指す教育特区」の認定を受け、平成18年度の実施に向けて準備を進めている。平成17年度現在、小学校に外国人講師が常駐し、全学年で週1時間の英語活動を実施しており、平成18年度からは「国際科」として週2時間に拡大される予定である。

小学校段階における英語活動は「聞く」「話す」活動を十分に行うことが大切であるが、実践的コミュニケーション能力を身に付けるためには、「聞く」「話す」活動に加え、「読む」「書く」活動、すなわち文字を発達段階に応じて指導することが必要だと考える。文字には記憶保持、音声把握、情報取得等に効果があるといわれている。そこで音声と文字のつながりを発達段階に即して指導に取り入れることで、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことができると考えた。

音声と文字のつながりの導入で期待される効果

- (1)文字と音との関連を知ることで、音声把握を分析的にさせる。
- (2)文字が記憶の助けとなり、時間が経過してもその記憶が保持される。
- (3)文字が読めるという意識は自分の力で文字から情報を得る技術となる。

(日本児童英語教育学会研究紀要21号 平成2002年3月「子どもの言語習得と文字」)

2 研究のねらい

- ・音声と文字のつながりを指導し、文字が読めることの有効性を検証する。
- ・小学校全学年の英語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の指導指針（試案）と第4学年の年間指導計画（試案）を作成する。

研究の内容・方法・結果

基礎研究

- (1)各種答申・調査報告書・研究報告書等の分析を行い、海外における早期外国語教育の歴史や実施状況、日本における小学校英語教育の歴史と現状、課題を明らかにした。
- (2)文献研究を基に、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うための方策を探った。

調査研究・検証

- (1)実践的コミュニケーション能力の基礎を養うために文字を導入することが効果的だと考え、「音声と文字のつながり」小単元を作成・指導した。
- (2)その前後に文字指導の効果の調査・分析を行い、効果を検証した。

実践研究

- (1)実践の手引きや研究開発学校などのカリキュラムの分析より、小学校における発達段階に即した指導指針（試案）を作成した。
- (2)第4学年の年間指導計画（試案）を作成した。

1 基礎研究

現在多くの国で早期外国語教育の推進・必修化が進められており、それぞれ国が定めたカリキュラムがある（H16国立教育政策研究所）。日本では、約92.1%の小学校が英語活動を行っている。研究開発学校の実践報告では、小学校段階から英語活動を行った効果として、英語への興味・関心の高まりと、英語でのコミュニケーションへの積極性が挙げられているが、その効果は中学校入学後約1年間程度だという報告もある。小・中連携を視野に入れたカリキュラ

ム研究を行っている学校では、文字を何学年からどのように取り入れるべきかが課題となっている。高学年児童への全国調査によると、英語活動の実施を希望する理由の1位が「読むことができるから」、嫌いな理由の1位が「読むことがうまくできないから」となっている（H16 文部科学省）。同じ「文字を読むこと」が英語活動を希望する理由にも嫌いな理由にもなっている。これは、文字は言語を指導する上で欠かせない要素であるので、板書するなどの方法で提示する一方で、児童への負担が大き過ぎるとして読み方の指導を行っていない現状があるからだと考える。すなわち発達段階に即した適切な文字指導が、英語活動を実施する上で重要な要素だと考える。

**「英語活動」のねらいと活動の在り方
音声を中心とした活動を行う**
コミュニケーションは、主に音声と文字を媒体として行われる。しかし、英語の文字と音声を同時に媒体として意思の伝達を図ろうとすることは、小学校の子どもにとっては負担が大き過ぎて、英語嫌いを生み出すことにつながる。
(平成13年文部科学省「小学校英語活動実践の手引き」)

2 調査研究・検証

(1) 調査方法と内容

まず、音声と文字のつながり、すなわち文字の読み方を指導した。その指導前後に、音声把握、記憶保持、新出単語の読みに関する能力を下記のように調査した。

文字指導の有効性～検証方法～

- (1) **【分析的音声把握】外国人講師の発音を聞いて、つづりがわかるか。**
方法：外国人講師の発音を聞き、下から正しいものを選ぶ（指導前後で比較）
can・fan・van fat・cat・hat bag・bug・bog wet・pet・net
- (2) **【記憶保持】絵カードと文字付き絵カードの学習では、どちらがより単語を記憶しているか。**
方法：絵カードと、文字付き絵カードを提示して単語を指導し、単語の読み方を表記させる（指導前後で比較）
絵カード train, unicycle, corn, carrot, elephant, pig, giraffe, dice, shot
文字付き絵カード ship, ambulance, potato, onion, frog, sheep, crow, rainshoes, drum
指導後、一定時間がたったところで発音を片仮名表記させる。
(本来は一人一人聞き取り調査をすべきであるが、時間の制約から片仮名表記を採用した。)
ただし記憶の調査であるため、学習の効果が影響しないよう、絵カード用と文字付き絵カード用の単語は異なるものを使用し、あらかじめそれぞれの単語をどの程度知っているか調査した。
- (3) **【文字からの情報収集】新出単語が読めるか。**
方法：発音を片仮名表記させる。（指導前後で比較） bug hen sap hit

(2) 結果と考察

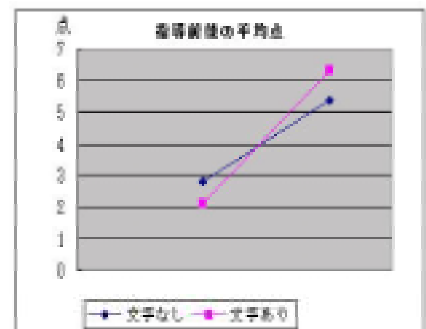
分析の結果、文字の読み方の指導は、以下三点と意欲向上に効果があることが分かった。

分析的音声把握【音声把握】

指導前の平均 2.68 点が指導後 3.36 点（4点中）に向上した。指導前後で、音声から正しい単語を選ぶ力に差がうまれるかどうかを検討するために t 検定を行ったところ、5%水準で有意差がみられ（ $t(27)=-3.104, p<.05$ ）、文字指導は有効だと分かった。

記憶の保持【記憶保持】

絵カードと、文字つき絵カードを提示して単語を指導し、記憶単語数の調査を行った。記憶調査であるため「指導の効果」が影響しないよう、調査内容を変えて行った。絵カードで平均 2.82 点が 5.39 点、文字つき絵カードで平均 2.11 点が 6.32 点（9点中）とそれぞれ指導後に向上した。有効度指数を比較したところ、絵カードによる指導の有



効度は42、文字つき絵カードによる指導の有効度は61であり、文字がある方が単語の記憶に有効だと分かった。

文字からの情報収集【新出単語の読み】

新出単語を読む調査で、指導前の平均 2.14 点が指導後

3.11 点（5点中）へ向上した。指導前後で、文字を読む力に差がうまれるかどうかを検討するため t 検定（両側）を行ったところ、5%水準で有意差が見られ（ $t(27) = -3.104, p < .05$ ）、文字指導は有効だと分かった。

$$\text{有効度指数} = \frac{b-a}{c-a} \times 100$$

a:指導前のクラス平均点

b:指導後のクラス平均点

c:満点(9点) 最大値は100

3 実践研究

検証の結果を受け、港区立小学校「国際科」での活用を図るべく、小学校英語の指導指針（試案）と年間指導計画（試案）を作成した。

(1) 小学校英語指導指針（試案）の作成

研究開発学校・研究団体・諸外国の早期外国語指導指針を分析した結果、早期外国語教育の目標には右の三つの要素が含まれていると考えた。そこで、港区立

早期外国語教育の三要素

- ・コミュニケーションへの意欲・態度の育成
- ・実践的コミュニケーション能力の基礎の育成
- ・国際理解の進展

小学校「国際科（案）」を基に、この三要素を含んだ目標を作成した。また、言語の学習という観点から、小学校学習指導要領「国語」と中学校学習指導要領「外国語」を参考として、ゆるやかな枠の中で学習が進められるよう、2学年合わせて目標を設定した。さらに、達成度を明確にするため、4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」の目標を明示した。

小学校英語指導指針（試案）抜粋

	目標	内容 【英語】	内容 【国際理解】
1 2 年	(1)英語のリズムや音声に慣れ、英語を使って、まわりの人と交流する。 (2)外国や日本の行事・習慣などにふれ、親しむ。	【聞く】動作や指示、あいさつやお礼の言葉、人の名前やもの名前などを聞き取る。 【話す】英語を聞こえるままに発音する。簡単な質問に、yes/noで答える。あいさつや感謝の言葉、身の回りにある言葉を使う。	(1)身近にいる外国人児童と仲良く学び活動する。 (2)外国や日本の行事や習慣、歌、遊びなどを体験し、楽しむ。 (3)身近にいる外国人指導者に積極的に話しかける。
3 4 年	(1)英語を聞いたり話したりすることに慣れ、実際にコミュニケーションをする。 (2)聞く・話す活動に関連して、文字にもふれる。 (3)外国と日本の言葉や生活、習慣や文化の類似点や相違点に関心をもつ。	【聞く】簡単な会話や物語を聞いて内容を理解する。 【話す】簡単な会話表現を使って、自分の思いを伝える。 【読む】アルファベットに興味をもち、読む。(4年生)簡単な単語を見て発音し、理解する。(4年生) 【書く】アルファベット(大文字・小文字)を書く。(4年生)人名や簡単な単語を書く。(4年生)	(1)世界にはいろいろな国の人がいることを知り、地域の外国の人たちに温かく接する。 (2)外国の習慣や食事、行事とその背景を理解する。 (3)その国の言葉であいさつする。
5 6 年	(1)文字も活用して、コミュニケーションの充実を図る。 (2)言葉や生活習慣の背景にある考え方や価値観の多様性に気付き、尊重する。	【聞く】簡単な会話や質問・意見や物語を聞いて内容を理解する。 【話す】日常生活の場面で、既習の会話表現を使って自分の思いを表現する。 【読む】簡単な英語の単語やあいさつ、文を読んで理解する。 【書く】簡単な単語や文を書き写し、カードにお礼や自己紹介などの短い文を書く。	(1)英語での日常会話を楽しみ、外国文化への理解を深めるとともに、日本の文化について伝えることができるようになる。 (2)外国と日本の習慣や食文化や行事について、それぞれの特徴と背景を知り、根底にある考え方や価値観を尊重する。

(2) 第4学年年間指導計画（試案）の作成

まず、説明する・尋ねるなどの言語機能を中心に、小学校全学年の年間指導計画を作成した。買い物や道案内などの言語使用場面も、発達段階に応じて配列し、発展的に繰り返し学習することにより定着が図られるようにした。また、国語科でローマ字を学習する第4学年の年間指導計画を作成した。

第4学年 小学校英語 年間指導計画(試案)

反転文字は文字単元

月	【題材名】 国際理解	言語機能 学習内容	具体的な活動例	語彙	言語材料
4	【紹介しよう】 友達紹介・教室の名前など	友達の紹介 学校紹介 尋ねる 依頼する	1. 1人の友達を決めて短く、目で紹介する。他の児童は紹介を聞いてそれと指差を当てる。 2. 教室などの写真で校舎見取り図を作り、各フロアに貼り出す。	誕生月 趣味 様子を表す言葉 身の回りの物 教室・校舎	I'm from ~. How are you? I'm fine/tired. His/Her name is ~. Nice to meet you. Who is he/she? This is Nurse. May I borrow your glue/ scissors/ pencil, please.
5	【どこに / だれの】 世界の物語 読み聞かせ	尋ねる 位置関係を表す 説明する	1. 文房具が置かれた部屋の絵を30秒見て、覚えているものを言う。 2. 指示に従って給食のお皿などを配置する。 3. 児童の文房具を使って宝探しゲームを行う。 なかなか見つからなかったらヒントを言う。 "It's in a desk."	身の回りの物 文房具 給食 場所を示す言葉	The dictionary is on the desk. in under beside behind Whose pen case is this? It's Takeshi's. my mine your yours Where is it? It's beside a shell.
6	【私の一日】 外国の習慣 シエスタなど	順を追って説明する	1. 好きな教科・クラブを紹介し合う。 2. 教科の顔文字アルファベットを入れた時間割を作る。 3. ペアでそれぞれ違う時間割を持ち、質問しながら相手の時間割を正しく作る。	時刻(3年生の復習) 時間割 教科 クラブ	I have four classes on Wednesday. I like science class (best). P.E./Japanese/Math I belong to Computer Club.
7	【道案内】 世界の文字アルファベット	行き方を説明する	1. 用意された地図を見ながら郵便局や駅などの行き方を尋ねる 答える謝る。 2. アルファベットの読み方から、友達の名前をつづる。 3. 夏休みの予定、訪れる予定の場所について話し合う。	建物・駅など 夏休み 旅行・自然	Excuse me. I'm looking for ~. Can you tell me? Yes I can. I don't know. traffic right/straight first second
9	【誕生日会】 電話のマナー	電話で誘う 断る 約束する 尋ねる	1. 状況カード「午後3時から公園で遊ぶ」「明日の宿題を聞く」などを引き、会話を。 2. プレゼントに欲しい物を聞き合う。ルーツバスケ。誕生日会に必要なものを言う。	あいさつ / 電話 身の回りの言葉(プレゼント)	Hello. I'm ~. Would you like to come ~? Sure/Sorry I can't. Would you like some ~? What/Which would you like?
10	【ハロウィーン】 世界の行事 ゲストティーチャー	尋ねる 気持ちを表す 単位を換算して言う	1. ゲストティーチャーからロウソク / スダンなどの話を聞く。 ゲストティーチャーに質問をする。(設定が難しい場合はビデオ) 2. 衣装や外国の衣装を着る。 3. ゲストティーチャーや友達の身長や靴のサイズを聞いてシートに書く。クイズを作って発表する。	交流 ハロウィーン ラマダン 長さ km/mile/feet	Trick or treat. How old are you? How many/long ~? I'm 5 feet tall. My foot is 8 inches big.
11	【レストラン】 レストランのメニュー	注文する 尋ねる 味を表す	1. 料理の名前を知り、レストラン場面を設定し注文をする。食べた後の感想を言う。 2. 和製英語を聞いて、元の英語を当てる。	料理 和英英語 国際語となった日本語	This is(too)sweet. salty bitter tasty nasty good Sashimi, please. How much is it?
12	【クリスマス】 クリスマスについて クリスマスカード 大文字・小文字	頼む カードを書く (Key-wordを写す)	1. 教室を飾り付ける。その際必要な物を英語で頼む。 2. お世話になっている人やゲストティーチャーにカードを書く。	クリスマスに関する言葉 欲しいプレゼント	Dear ~. Merry Christmas to you! Please give me ~./Sure. I want a blue pen/golden paper.
1	【楽しかった冬休み】	冬休みの思い出を話す 説明質問	1. 冬休みの思い出を1人1人短く話す。親族を訪ねた人はその人の職業について話す。 2. レジャー/職業単語のマッチングゲームをする。	冬休みの生活時刻 レジャー 職業	I visited my ~. She is a ~. I went skiing. farmer teacher policeman doctor
2	【この話知ってるよ!】 世界のお話	様子を表す 質問に答える 感想を言う	1. 絵本で世界の話を書く。その際教員は様子を表す言葉を織り込み、質問する。 2. 物語のせりふを覚える。 3. 「私は誰」クイズをする。	物語のせりふ 世界の物語 様子	Do you like it? Yes/No I ~. long big round pale straight cheerful I can beat a bear. He is Kintaro.
3	【仲良くしよう】 インターナショナルとの交流	質問をする 答える 台詞を言う	1. インターナショナルの生徒を招き、習慣や好きな物など質問する。 2. 前回覚えたせりふをつないで、短い劇をする。	外国人の好きな物 外国の習慣 寸劇	May I ask some questions, please? Excuse me. How many brothers do you have?

今後の課題

現在、年間指導計画を基に、文字導入単元の指導細案を作成している。外国人講師にも分かるよう英語版も作成中である。具体的で分かりやすい細案を完成することがまず大きな課題である。合わせて学級担任が英語で簡単な指示ができるよう、クラスルーム・イングリッシュ集の作成を行っている。これらの成果は、平成18年度より実施される港区立小学校「国際科」の中で、その妥当性や整合性を検証し、修正・活用を図りたい。

【参考文献】 「小学校の英語教育に関する意識調査」(H16 文部科学省) 「小学校英語学習指導指針」小学館 伊藤嘉一
 「外国語のカリキュラムの改善に関する研究」(H16 国立教育政策研究所) 「日本児童英語教育学会紀要」21号~23号